

【創刊号発刊にあたり】

会長 川崎 忠

西暦2015年には国民の4人に1人が65歳以上の高齢社会になると想定されており、今から小地域福祉活動を充実しておく必要があり『支え合って生きるまち』づくりを目指し、自分たちで何が出来るか、どの様な福祉が必要かを考え、住民一体の福祉活動に切磋琢磨し楽しく暮らせる街づくりに貢献したいと思っております。

さて、今年4月よりふれあい型食事サービス事業が65才以上の一人暮らし高齢者、外出困難な高齢世帯、身体障がい者の安否確認を目的に開始され、支え合い部会の皆様の協力を得て、月4回の弁当宅配を実施しております。さらに、お年寄りの閉じこもり防止を目的とした会食会も真崎コミュニティセンター、舟石川三区集会所において毎月第3水曜日にふれあい部会の皆様の協力を頂き実施しております。

なお、他にもやらなければならないことが多々あると思えます。地区内の皆様には今後ともご理解を頂きご協力、ご助言をお願い致します。

一人でも多くの皆様方のボランティア活動への参加をお願いします。ご協力いただける方は真崎コミュニティセンターまで連絡をお願いいたします。

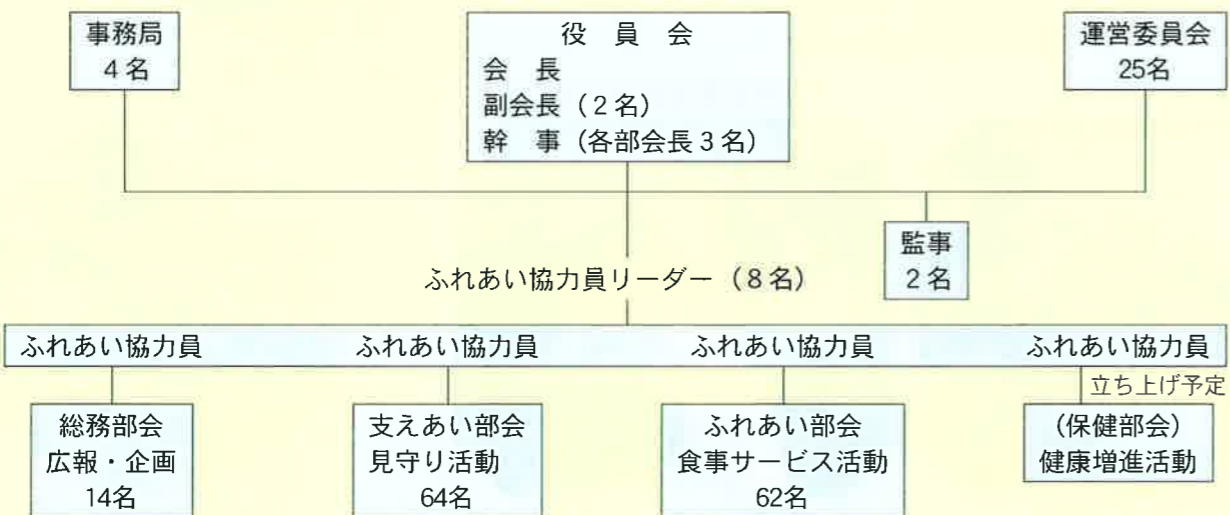


平成20年度総会



ふれあい協力員研修会
長谷川、外岡先生の講演

真崎地区社会福祉協議会組織図



ふれあい食事会の風景

食事会：毎月第3水曜日

配食：毎週水曜日



舟三集会所の食事会



ふれあい食事会前の団らん



弁当配達準備



食後、みんなで歌いました。
真崎コミセン会議室



運営スタッフの活動



弁当お届け中

配食サービス、ボランティアによる配食です。

コミセン、集会所まで出向くことが出来ないかたが対象です。